

公表

事業所における自己評価結果 (8回答/8)

事業所名		児童発達支援SHIP					公表日	2024年10月23日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		必要に応じて部屋を分けるなどの対応をしている。	長期休みに入ると人数が増え、手狭に感じる。時間や人数によって活動する場所を変えていく。また、事業所のリフォームを行い、活動の場を広げていく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		出欠席に合わせて職員数の配置をしている。	曜日によっては大変な時がある。子どもの実態や人数に合わせ、職員の出勤を調整していく。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		動線の確保がされている。 顔写真や絵などを使用し、視覚に入れるようにしている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	毎日清掃を行い、清潔を保っている。	床の剥がれ、タオル掛けフックの高さの調節、教材の収納の仕方は改善した方がよい。場所について改めて改善していく。清潔面は気を付けていると思うが、午睡は静かで別の空間になるとよい。今後場所を区切ることができるようにしていく。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	気持ちを落ち着かせる際に移動している。パーテーションで区切るなどの努力(工夫)はしている。 活動や子どもの様子、人数に合わせて複数の部屋がある。	クールダウンできる場所があるとよい。今後場所を区切ることができるようにしていく。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		毎日の目標設定や、日々の振り返りを行うことで循環されている。 毎日終礼で一日の指導の振り返りを行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		評価会議を行い、必要に応じて情報提供をしている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		児発管との月1の振り返り(ヒアリング)で気持ちを伝える場面が作られている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	委員会については第三者にお願いいただき、助言等していただいているが、第三者評価はしていない。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		動画研修や障害の理解に関する研修など学ぶ機会がある。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		決められた月ごとに行われている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		職員間で共有し、一つの計画をみんなで作り上げている。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		職員間で共有し、一つの計画をみんなで作り上げている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員間で共有し、一つの計画をみんなで作り上げている。 職員全員のパソコンデータに共有され、いつでも閲覧し、情報共有できるようになっている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		毎日の活動記録を通して、フォーマル、インフォーマルなアセスメントが行われている。 気づきがある。			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		項目に沿って適切に作成されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	スタッフ間で割り振って役割を決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		昨年のをブラッシュアップして取り組んでいたり、新しいテーマの作成も行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		適切に取り組まれている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝礼、集団活動案の確認等しっかりと行われている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		終礼で共有し、改善点も話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		欠かさず記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児発管、管理者が代表して会議に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		3つの病院と協力体制を構築している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		関係者会議等を通じて情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		関係者会議等を通じて情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3			今後助言を受けていくよう取り組んでいく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6		夏祭り等を通じて交流する機会を作っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		活動ごとに様子を文章や写真で伝えている。些細なことでも連絡をとっている。保護者も安心できるのではないかと。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		説明がしっかりとされている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		子ども・保護者の意思尊重、配慮がされている。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		丁寧に取り扱っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		話をする機会を設け、助言等を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		保護者交流会等が開催されている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		連絡帳や電話で対応、必要に応じて面談をしている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		HP、SNSを活用している。 意見箱の設置をしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		適切に管理されている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		特性理解や合理的配慮に努めている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		行事や講演会等発信している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		定期的な読み合わせ（マニュアル）、防災訓練に取り組んでいる。 夏祭りなどで地域の方を招待している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		定期的な読み合わせ（マニュアル）、防災訓練に取り組んでいる。 防災倉庫設置済み	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		情報シートにまとめている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8		保護者に調査書を提出していただき、てんかんや服薬、アレルギーについて把握をしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		保護者に調査書を提出していただき、てんかんや服薬、アレルギーについて把握をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		会社で定めた期間に研修、訓練を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		防災訓練などについて連絡帳や行事予定等を通して周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		積極的に記録を書いている。 改善案を検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		委員会設置済み（外部委員が入っている） 研修や日々の支援への聞き取り等を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		必要に応じて個別支援計画に記載をしている。	